

1 第五次長野県環境基本計画骨子（案）について（概要 資料 1-2、本体 資料 1-3）

- ・ 現行の第四次計画の考え方（SDGs による施策の推進、施策の柱、垂直・水平ゾーニング）を活かしつつ、環境・社会・経済における時代の転換点を意識し、第四次計画の後に策定した長野県ゼロカーボン戦略（2021 年 6 月策定）及び長野県廃棄物処理計画（第 5 期）（2021 年 4 月策定）の構成を反映
- ・ 第 4 章「目標と実施施策」において、施策の柱ごとに推進標語を設定（推進標語はパブリックコメントの際に募集を行い、環境部若手職員や学生も交えた選考を予定）

第1章 計画の基本的考え方（計画の位置付け、SDGsの考え方、計画期間）

第2章 現状と課題（施策の柱ごとの現状と課題）

第3章 長野県の将来像（概ね2030年ごろ※に目指す柱ごとの将来像）
※次期総合5か年計画との整合を検討

第4章 目標と実施施策

■ **基本目標**
【現行目標】「共に育み 未来につなぐ 信州の豊かな自然・確かな暮らし」

■ **実施施策と数値目標** ※施策の柱ごとに推進標語を設定

《**施策の柱**》

- 1 持続可能な社会の構築（環境全般に共通した取組）
- 2 脱炭素社会の構築（長野県ゼロカーボン戦略を反映）
- 3 生物多様性・自然環境の保全と利用
⇒第二次生物多様性ながの県戦略
- 4 水環境の保全 ⇒第七次水環境保全総合計画
- 5 大気環境等の保全
- 6 循環型社会の形成（長野県廃棄物処理計画（第5期）を反映）

■ **地域の特性を踏まえた取組の推進**

- ・垂直ゾーニング（標高差に着目した施策の展開）
- ・水平ゾーニング（地域別の特性と実施施策）

第5章 計画の推進体制等

- ・「長野県の将来像」…不足している観点はないか
- ・「基本目標」…検討する上で重要な考え方・キーワード
- ・「実施施策」の項目…不足している項目はないか

●生物多様性ながの県戦略関係 参考 1-2

- ・公益財団法人 日本自然保護協会 広報会員部長 どうけ 道家 哲平 氏 (令和4年6月13日)
- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長 なかしずか 中静 透 氏 (令和4年6月13日)
- ・国立大学法人 信州大学 名誉教授 中村 寛志 氏 (令和4年6月30日)

●水環境保全総合計画関係

今後実施する予定

(2) 講演会等における県民及び事業者からの意見聴取状況

・対象者数：延べ約 270 人（令和 4 年 4 月～6 月）

・要望があった施策：

事業者による省エネ設備導入への支援、再エネ発電事業の創出支援、
森林整備及び保護、県有施設の ZEB 化、
ターゲット（若者・子育て世代・事業者（業種別）等）を定めた講演会の実施

3 今後の予定

時期	内 容
令和 4 年 7 月 14 日	第 2 回審議（環境審議会） ・計画骨子案の審議
～	有識者ヒアリング（水環境保全総合計画関係）
11 月	第 3 回審議（環境審議会） ・計画素案の審議
～	パブリックコメントの実施、推進標語の募集
令和 5 年 1 月	第 4 回審議（環境審議会） ・計画答申案の審議
3 月	部局長会議 ・次期計画の決定

様々な機会における
県民等からの意見聴取

